

## みちのく一人旅 [編集する](#)

2013年06月22日 15:34 [友人の友人まで公開](#)

28 view



最近ドタバタしてまして、まずはさかのぼること、5月下旬。

八幡平、岩手山、早池峰山、と3つのお山を歩いて回りましたが、同じ岩手県内といえども、三者三様、それぞれの良さがありました😊

-----

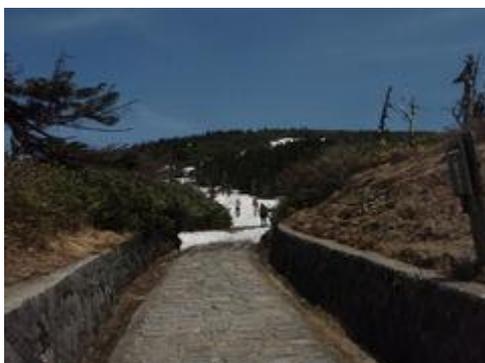
5月26日(日)

東京 →(高速バス)→ 盛岡 →(車)→ 見返峠

※見返峠は、レストハウスのある場所に有料駐車場、そこから少し下ったところに無料駐車場あり🚗

八幡平は、車で山頂付近まで行けるので、一般客にもお手軽な山。

登山口から歩き始めてると、



すぐに雪原。アイゼンなしでも歩けるが、あってもいいくらい、この日はずっと残雪帯でした。

で、ここからのんびり、30分弱歩いたところで



山頂!! でも木々に囲まれ、展望なし🙄



山頂付近。八幡平はその名のとおりに、平らな山でした。

ここから茶臼岳へ目指します。道中は雪原か、森の中でも、



このとおり。明るかった。



源太森。ここの方が八幡平よりも眺望がよく、



この写真の右が八幡平方面。どこが山頂なのか、わからない👉 左が見返り峠から秋田駒ヶ岳方面へと続く稜線。ここも気持ち良さそう。



こちらは岩手山方面。単独峰でご立派。残雪もなさげ👉👈

さらに足を進めて、茶臼岳へ。茶臼岳付近は、



ちょこっとだけ夏道が見え隠れしていたところで、



茶臼岳山頂。ここも 360 度のパノラマ✨

ここから来た道を引き返して、見返峠に戻る。そんなわけで、初日はのんびり、たいして汗もかかずに、でも  
広々とした景色を眺めて、終了👍

10:20 見返峠

10:45 八幡平山頂

11:25-11:35 源太森

12:00 黒谷地湿原

12:50-13:20 茶臼岳

13:55 黒谷地湿原

14:20 源太森

15:00 見返峠

見返峠 →(車)→ 御神坂登山口

というわけで、岩手山の山麓、御神坂登山口の駐車場にて車中泊。この駐車場付近で、食事処を探しに  
うろうろ回っていたら、目的地付近に日帰り入浴施設を発見。この日は風呂なしのつもりだったけど、やっ  
ぱり入っちゃえ。

 相の沢温泉 お山の湯

・¥400/人

こじんまりとした雰囲気温泉。村民のための施設なようで(村民は¥200/人)、入浴中も、地元の役所の話とか、露天風呂の景観を変えたいとか、入れ替わり立ち替わりで村民同士が盛り上がっていました。シンプルで、なかなかよかった😊

-----  
5月27日(月)

岩手山は、いろんな山の要素が、コンパクトに詰まったようなところ。樹林帯ありーの、岩場ありーの、急登ありーの、残雪ありーの、避難小屋ありーの、ガレ場ありーの、お地蔵様ありーの、神社ありーの、山岳信仰ありーの。。。😊

さて、御神坂駐車場。昨日は気づかなかったが、トイレと思われた建物が、



実は休憩施設つきで、かなりきれい。これなら車中で寒い思いして寝ることなかったね😊

さて、



登り始めは樹林帯。わらじ脱ぎ場まではじわじわと登り詰めていく感じだが、ここから徐々に急になり始める。



花びらが下を向く花？ 恥ずかしがっているのか、けなげな姿でした。

休憩ポイントの大滝を過ぎると、



残雪 🤖



この残雪がどのくらい続くのかわからないが、急なので一応アイゼンをつける。だが、5分も歩けば、夏道も見え隠れしているので、再びアイゼンをはずす。若干無駄な時間を過ごしてしまった気分。。。 😊 岩手山は6月上旬からシーズンとされているだけあって、たいして残雪も残っていないようだ。



コザクラ系？ カラフルでした。



新緑の芽。

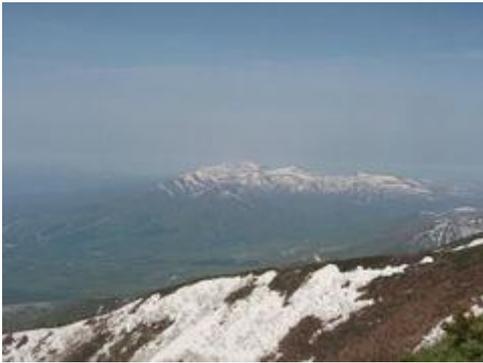
やがて森林限界を超えてくると、



岩場。遮るものがなく、容赦なく太陽は照り付けてくる👓

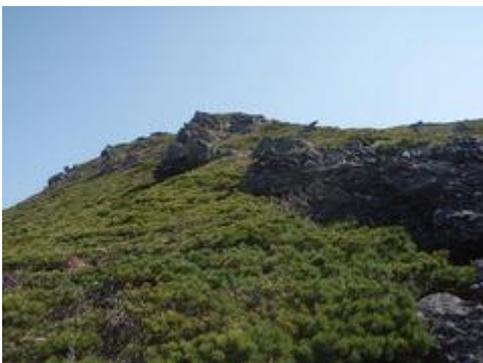


振り返れば、雲がたなびいていて、のどかな景色だが、下から吹き上げてくる風も、ぬるい。この日、下界の盛岡は 28℃。すでに夏山並みの暑さで、残雪を見かけたら、容赦なく食べてました🍷



ちなみに、登山道からは、秋田駒ヶ岳がよく見える。似たような標高なのに、向こうは真っ白だね🤖

終盤はそれほどペースも上げられず、でもこの登りを早く終わらせたい、その一心💡



見よ、この青空。夏だね🍷

でも、ここを登りきれば、鬼ヶ城分岐。そしてここでやっちまったー💣 そのまま道を登り続けたらやがて下り道となり、山頂が離れていく…。はい、ルートミス…👉

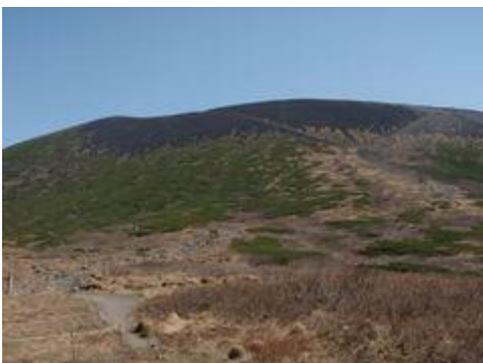


この鬼ヶ城ルートも魅力的なのだが(→実は当初はここも通って、網張温泉へ抜けることも考えていた)、まずは岩手山ははずせない！ というわけで、引き返して鬼ヶ城分岐、ふたたび。

山頂へいくには、ここから避難小屋方面へ一度下るのだが、



ここで雪渓。シリセードできそうなほどの勾配だったが、帰りにまた登ってくることを考えると、ここは足跡をきれいに残すことを考え、慎重に歩いて下る。やがて避難小屋が見えてきたら、そこが不動平。



不動平より。目の前に聳えるのが岩手山。

ここは馬返し方面からのルートと合流。岩手山は多くの登山客が馬返しから登ってくるそうなので、この日も何組かの登山客がここから現れた。ここで、腹ごしらえしたところで！🍪

岩手山核心部を目指します👉



最後の登りはガレ場。ズルズル足を引きずられるが、一歩ずつ登れば、稜線に出る。山頂界限はお鉢巡りの地形なのだが、ん!?



山頂へ続く道に何かが並んでいる!? 正解は、



お地藏様(お釈迦様!?)の石碑。山岳信仰が色濃い。



こんな態度のでかいお地藏様も。。。でも憎めないね。

ここから山頂まで虫が大量発生。吹き上げてくる風に運ばれてきたのか、異常なほど。しかも、てんとう虫  
までウヨウヨとシャツにくっついている…。でも、この虫を乗り越えれば！



山頂～🌄

でも虫が気になって、とてものんびりしていたい気分にはなれなかった🦋

ここで出会った登山客は、北海道から来た2人組。今回は1ヶ月の予定で、青森、岩手、秋田、山形の山々を登り尽くす予定、とのこと。長いときは2ヶ月近くの日程を組むというから、すごいね～。

そして山頂から、お鉢状にさらに進む。



お鉢の中。



剣!? と思って近づいてみると、



岩手山神社。大正時代や昭和初期に、この石碑を持ち運んだ人が、すごいね！（へりじゃないよね!?)

はい、本日も無事に登らせていただき、ありがとうございました！

あとは、不動平、鬼ヶ城分岐と戻り、同じルートを下山。

ここから、とある登山客から「お先にどうぞ」と言われ、抜かされてもらいながらも、その後いろいろと話しかけてくるので、結局その人のペースでしばらくは一緒に下山(笑)。でも岩手山には 100 回以上、秋田駒ヶ岳には 300 回以上は登っているという方で、地元の話のいろいろと聞けた。

★周囲の山に比べ、なぜ岩手山の積雪が少ないのか❗️?

→単独峰であり、風が強烈に吹き付ける。

→風が雪をも吹き飛ばしてしまい、積りにくくなる。ほほお💡

★盛岡三大麺といえば

→「わんこそば」は美味しくないぞと念を押される(夢がぶち壊される👇)

→「冷麺」よりも山形の麺のほうがさっぱりしてる😋

→「じゃじゃ麺」は盛岡発祥だし、中国の本場で修業した人がアレンジしたものだから、ぜひ食してみろといれる。ほお❗️

地元の人が言うのだから、間違いはないのだろうが、わんこそばの評価がそこまで低かったとは...👇👇



このおっちゃんとも途中で別れてからは、先が長いので、さくさく下る。最近思うに、下りは軽く走るつもりで歩いた方が、膝のクッションを使えるように思う。かといって、調子に乗ると派手にコケる。なかなか憎いね、下りくん。

5:00 御神坂駐車場  
5:20 第二登山口  
5:45 切接  
6:10-6:20 わらじ脱ぎ場  
6:45-6:55 大滝  
7:55-8:00 笠締  
8:50 鬼ヶ城分岐  
9:00 千俵岩  
9:05 鬼ヶ城分岐  
9:15-9:25 不動平  
10:00-10:15 岩手山  
10:30-10:40 岩手山神社  
10:55-11:00 不動平  
11:50 笠締  
12:15-12:25 大滝  
12:50 切接  
13:15 御神坂駐車場

### 網張温泉

・¥500/人

・硫黄臭がややきつめ。

ここには、超天然むきだしの混浴温泉「仙女の湯」が有名と聞いていたが、立ち寄った日帰り入浴施設には、ごく普通の温泉。あれ!? (→正解は、「休暇村 岩手網張温泉 本館」でした。)

御神坂登山口 →(車)→ つどいの森(宿泊施設)

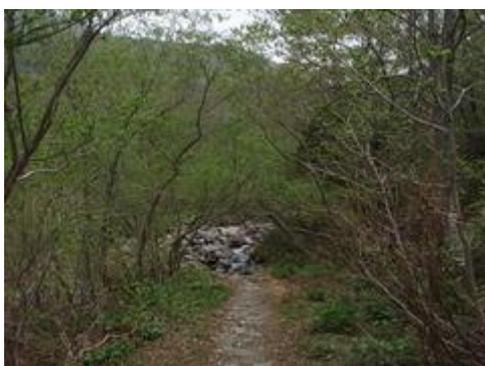
-----

5月27日(火)

つどいの森 →(車)→ 河原坊

早池峰山は、とにかく、岩場、岩場、岩場。

かなり足腰を鍛えられる山でしたが💧、遮るものがない、気持ちのいい山でした✨



登り始めはこんな感じ。すぐに沢沿いのルートに出て、あとはずっと岩場。



いけどもいけども岩場。



しつこく岩場。



しかも青空の岩場 🤩



でっかい岩もあったり、



不思議な色の岩もあったり、



鎖場もあったり、



山頂核心部も、やっぱり岩場で、これを登れば！



山頂～✌️



雲海っぽく撮れた画像🌫️

腹ごしらえ後、下山。



山頂付近のみ、多少の残雪はあったけど、歩くのには全く問題なし。

小田越に向かう下りルートは、急。



こちらも遮るものがないので、



ずっと先まで見渡せる。(=先は長いね～。) ちなみにこのルートは登りのルートほど岩が少ないけど、急なのが厄介かも!?



桜、松、岩。

うん、純日本だね。

最後の最後、樹林帯に潜り、多少は残雪も残っていたけど、一気に下る。ちなみに樹林帯には、こんなものがぶら下がっていました。



クマ避け用のドラム缶？ 叩けばよかったかな～。

9:50 河原坊

10:45 頭垢離

11:20 打石

11:55-12:20 早池峰山

12:50 五合目

13:40 小田越

小田越から河原坊まで、40分の車道歩きの予定だったが、地元の方に拾っていただいた🚗 岩手に来てくれてありがとう、と何度も言われてしまった。いえいえ、こちらこそすみません😅

ラフランス温泉館

料金:¥700/人

施設は広々で、ごく一般的。

-----

そんなこんなで、3つの山をまとめて歩けましたが、冒頭にも書いたとおり、同じ岩手県で、かくもこんなに違うのか、と思えた山たちでした。

そして、この3日間、とにかく好天続きだったので、まいったね、晴れ男🌤️

(あと、もう少しだけ、つづく)

## みちのく一人旅 Part-II [編集する](#)

2013年06月24日 00:20 [友人の友人まで公開](#)

16 view



せっかく行った岩手県。観光も、盛岡グルメもはずせません👉

まずは、幼少の頃からお世話になっている(!?)こちら。



小岩井農場。

今回、岩手山を御神坂登山口から登ったのは、小岩井農場が近かったから、といっても過言ではないくらい、狙ってました、ここ👉

本来の目的は、園内ツアーに参加することだったけど、ツアー出発時間を勘違いしていて、参加できず...

👇 (ちなみに、園内ツアーに参加すると、普段非公開のエリアや、冷蔵庫がなかった時代に、どのように乳製品を保管していたのか、等が見られるそうです。。。)

でも、こちらはゲットしましたぜ!



小岩井農場の牛乳🐄

飲みきりサイズの 90ml が、ちょうどよかった✨

(通常の 200ml もありますよー💡)



ジェラート(ヨーグルト味 & ホワイトコーヒー味)

こちらは、小岩井農場の牛乳が使われています。この日は盛岡が 28℃だったので、アイス日和🍦

そして、今回立ち寄った「まきば園」は



のどかな公園的な場所でした～。岩手山も望めます🌄

-----

盛岡三大そばの一つ🍜



「盛岡冷麺」

冷麺屋は至るところにあるけれど、事前に地元登山客から仕入れた情報から、『びよんびよん舎』に行ってみました。チェーン店で、銀座にもあるそうです💡

ここの冷麺は、麺にコシがあって、文句なしでうまかった～👍 しかも、夏山で火照った身体にもぴったり  
の、さっぱり冷麺でした!!🌊

-----  
盛岡三大そばの一つ 🍜



「じゃじゃ麺」(かき混ぜる前)



同じく「じゃじゃ麺」(かき混ぜた後)

中国由来でおなじみのジャージャー麺(炸醬麵)の、盛岡版といったところか。甘辛味噌で和えた味付けなのだが、いざ食べてみると...

....

.....



久々にヒットしなかった↓

ちなみにお好みに、ラー油、酢、ニンニクなどを混ぜてもいいのだから、それでも…。何だか味にしまりが無い  
… ↓ ↓

でも食べ終わった皿を店員さんに差し出すと



「チータンタン」という卵とじスープに変化して、締め一品として再登場。むしろこちらの方が、美味 ↑ ↑

-----

盛岡三大そばの一つ 🍜



「わんこそば」

今回は、わんこそばの老舗と言われる「東屋」へ、盛岡在住の友人ロンと、挑戦してきました～🍜

(ちなみに「東屋」は、普通のお蕎麦を目当てにくるお客もたくさん。11時の開店と同時に入ったけど、15分後には半数以上の席が埋まっているほどの人気店でした。)

さて、わんこそばにもいくつかのコースがあり、今回は8種類の薬味つき(¥3,150)を選んでみる。なので、まずは



いろいろな薬味(ねぎ、とろろ、ごま等)が並べられたところで🍜🍜

テーブルには笑顔の店員さんがついたが、この岩淵さん(この際、実名でいいや)、対応はとてよく、「わんこそばは、岩手県のおもてなしの一つです」等と語ってくれるのだが...、それが食べ始めるとともに、

憎いっ💣

1杯食べ終わるごとに、



「じゃーんじゃん」

「どーんどん」

という掛け声とともに、噂どおりにどんどんそばを注ぎ足してくるのだが...、全く休ませてくれないのだ。でも、むしろこのテンポで食べないと、胃に入らなくなりそうな予感!? そんなわけで、味わうとかではなく、終始口の中に入れる作業を行っている感じ... 😓

ちなみにわんこそば 15杯で、通常のもりそば 1人前相当と言われ、男性は平均 60杯食べている、とのこと。

確かに 60杯で、かなりお腹がパンパンになり、ベルトを緩める。するとまだいけるかも!🤔

と思ったのは一瞬で、

やっぱりつらい... 😞

そして例の岩淵さん。毎回 2 人で 15 杯 (=1 人あたり 7~8 杯) ずつを注ぎ足すと、すぐに厨房に引っ込み、次の 15 杯をもってくるという感じ。なので、岩淵さんが引っ込んでいる間が、正当なる休憩時間なのだが...、まったくもって休んでいる感じがしない... 🤦

その後も店内の他の客からも注目されている中、ロンとは、今度こそやめよう、と何度も言っていたものの...。

岩淵さんがやめさせてくれない 😡

やめたいときは、お椀の中身をそば 1 本残らず空っぽにしたところで、すぐに蓋を閉めなければいけないのだが、左手にお椀、右手に箸を持っていたら、蓋を持たないやんけ—— ✚

で、1 杯食べ終わるたびに、笑顔でおかわりをくれる岩淵さん 🤦 容赦ないっす。。。💧💧💧💧

でも、100杯食べると記念品がもらえると事前に聞いていたので(=物欲!?)、そこまで頑張った後

結局、おれはお椀をテーブルの上に置いたまま、右手に箸、左手に蓋を持ち、顔でお椀を伏せながら、食べ終わった直後に蓋をできたのであります。



ばたんきゅー

そして、岩淵さんのご丁寧に、「そば湯もどうぞー」と言って、笑顔で去って行きました。

飲めん、つちゅーの

そして、いただいた記念品がこれ。



記録 107 杯 🍷

十分もとは取りましたよ。というか、ほんとに苦しくて、深夜まで何も食べなくて平気だった。。。🤔

ちなみにロンも岩瀬さんと格闘しつつ、記録 109 杯 🍷



宴のあと。二人で食べたぜ「107 杯 + 109 杯 = 216 杯」。圧巻。

(そして、ロンは颯爽と仕事に向かったのでありました〜👉)

-----

最後におまけで、ロンの家に泊めてもらったときに飲んだのがこれ。



岩手の地ビール「銀河高原ビール」と、そのシリーズのペールエール🍺

とってもクリーミーでした😋

グルメ、バンザイ!

